



小豆坂小学校 校長室だより

さくら坂

第95号

28.9.15

上：美味しいホットドックの朝ご飯
中：難しいけれど楽しいカヌー体験
下：燃え上がるキャンプファイヤー



台風を吹き飛ばす子供のパワー

「もし、暴風警報が発令されたら、一泊二日に短縮して実施」「荒天の場合は、テントでの宿泊をやめて、ロッジ(宿泊棟)で二泊する」…出発間際まで、さらには現地に着してから、子供たちの安全確保を第一に対応策を検討した五年生の山の学習でした。八日(木)早朝は台風十三号の進路予想にこの地方が入っており、一緒に出掛ける六ツ美中部小学校と連絡を取り合い、天気予報等最新データとにらめっこでした。入所式が始まる頃には、激しい雨が降ってきました。少年自然の家の体育館でしばらく雨の上がるのを待っている、なんとということでしょう！天気はほとんど回復し始め、青空が見えてきました。そこから、まさに「台風一過」の清々しい初秋の空の下、充実した楽しい三日間となりました。『信じる仲間 深める友情』この五年生が考えた山の学習のテーマにふさわしい、素晴らしい学びを体験することができました。飯盒炊さんでは、薪がしめって火が付きにくくて、交代で風を送ってご飯やカレーを美味しく作りました。夜は、鈴木悟先生のご指導の下、望遠鏡で見る、白く輝く月のクレーターや土星の輪に歓声をあげました。二日目は、落ち葉スキー・フィールドアスレチック・川遊び・カヌー・ウッドバーニング、計画通りのわくわく体験の連続です。そして夜はキャンプファイヤー、燃え上がる「なかま」の火文字：仲間がいるから頑張れる、仲間と一緒にだから楽しい、友達と力を合わせて過ごした三日間は、大人になっても忘れないかけがえのない思い出となることでしょう。山の学習で大きく成長した五年生のこれからの活躍が楽しみです。またこれまで準備をしてくださった保護者の皆様、少年自然の家の方々、小久井さん、悟先生、そして一学期から準備や指導をした五年生の先生方に感謝の気持ちをお忘れずに忘れたい五年生でいてくれることと思います。

小豆坂点描

実りの秋がきました

山の学習の直前でしたが、5年生が学校田の稲刈りをしました。たわわに実った稲穂を、おそろおそろ鎌で刈りました。台風が近づく季節、様々な作物を作る全国の農家の皆さんは「なんとか台風の影響がないように」と願っていることでしょう。1年生もアサガオの種を大事そうに採っていました。小久井さんの田んぼでの稲刈りは、まだこれからです。子供たちの実りの秋、大きな台風がやっけてきませんように。

